

中医協 総-1-6
19.5.16

平成 18 年度診療報酬改定結果検証に係る調査
歯科診療における文書提供に対する患者意識調査
報 告 書

目 次

1. 目的.....	1
2. 調査対象.....	1
3. 調査方法.....	1
4. 調査項目.....	2
5. 結果.....	3
(1) 回収の状況	3
(2) 施設の状況（平成18年11月）	4
(3) 文書提供患者数および文書作成に係る時間数	9
(4) 文書の作成方法	12
(5) 文書提供による診療への影響	14
(6) 歯科医師の立場から見た文書提供を受けた患者の主な反応	17
(7) 患者の状況（患者調査より）	21
6. まとめ.....	33
7. 調査票.....	34

1. 目的

歯科医師の文書作成にかかる時間等の実態を把握するとともに、患者に対する文書提供によるきめ細かい情報提供の効果および患者の満足度等を把握することを目的とした。

2. 調査対象

本調査においては、施設調査と患者調査を実施した。

施設調査の対象は、全国の歯科診療所から無作為抽出（都道府県別に層化）した 1,000 施設、全国の歯科関連の診療科を標榜する病院から無作為抽出（単純無作為抽出）した 129 施設¹、および全国の歯科大学・大学歯学部附属病院の全数（32 施設）を調査対象とした。なお、歯科診療所については「保険医療機関等における医療費の内容が分かる明細書の発行状況調査」の調査対象と同一である。

患者調査では、A健康保険組合において平成 18 年 9 月に歯科医療機関を受診した経験のある被保険者本人の中から 5,000 名を無作為に抽出し、調査対象とした。

3. 調査方法

施設調査、患者調査ともに、自記式調査票の郵送配布・郵送回収とした。

施設調査では、施設属性項目および文書提供関連項目（患者数、時間数等）を調査した。文書提供関連項目のうち、患者数、時間数等については、平成 18 年 11 月 15 日～21 日の 1 週間の状況をプロスペクティブ（前向き）に調査した。なお、診療所については本調査の調査票と「保険医療機関等における医療費の内容が分かる明細書の発行状況調査」調査票を同封して配布した。

また、歯科大学・大学歯学部附属病院においては、所属する歯科医師数が多いことから、施設属性項目票と文書提供関連項目票とに分割し、前者については事務部門が記入、後者については歯科医師が記入するものとした。文書提供関連項目票については、各大学病院に調査票を 10 枚配布し、患者に文書提供を行う頻度の高い、歯周病治療または歯科補綴治療に従事している歯科医師が記入するものとした。

患者調査については、ご協力いただいた A 健康保険組合の封筒に封入し、A 保険組合名で調査協力を依頼する文書を同封して、配布した。

調査実施時期は、施設調査は平成 18 年 11 月、患者調査は平成 18 年 12 月とした。

¹ 病院歯科は少ないため、抽出率は診療所の抽出率の 5 倍とした。

4. 調査項目

施設調査については、施設属性項目と文書提供関連項目を調査した。詳細は以下のとおりである。

図表 1 調査項目（施設調査）

区分	調査項目
施設属性項目	開設主体、医療機関種別、標榜診療科、職員数（歯科医師、歯科衛生士、受付秘書・歯科助手）、届出施設基準
文書提供関連項目	<ul style="list-style-type: none">・ 1日あたり総患者数（初診・再診）・ 1日あたり文書を作成して提供した総患者数・ 1日あたり総診療時間数・ 1日あたり文書作成に費やした時間数・ 文書作成方法、文書提供による診療への影響・ 歯科医師の立場から見た患者満足度・理解度の変化等

患者調査については、文書提供を受けた患者の満足度を把握するため、以下の項目を調査した。

図表 2 調査項目（患者調査）

区分	調査項目
患者属性項目	<ul style="list-style-type: none">・ 性別・年齢・ 受診医療機関（所在地、種類）、受診理由
文書提供関連項目	<ul style="list-style-type: none">・ 文書提供の有無、文書の内容、わかりやすさ・ 文書提供に対する満足度・ 今後も文書をもらいたいかな

5. 結果

(1) 回収の状況

1) 施設調査

施設調査における回収率は、診療所が 53.7%、病院が 45.7%、であった。歯科大学・大学歯学部附属病院では、施設属性項目票の回収率が 78.1%であった。

図表 3 回収の状況（施設調査）

調査対象	有効回収数	回収率	
診療所（1000 施設）	537	53.7%	
病院（129 施設）	59	45.7%	
歯科大学・大学医学部附属大学病院	施設属性項目票（32 施設）	25	78.1%
	文書提供関連項目票（320 票）	226 (25 病院分)	
不明	8	—	

※白票を除き有効回収数とした。

2) 患者調査

被保険者本人 5,000 人を対象とした患者調査における回収数は 2,200 件で、回収率は 44.0%であった。

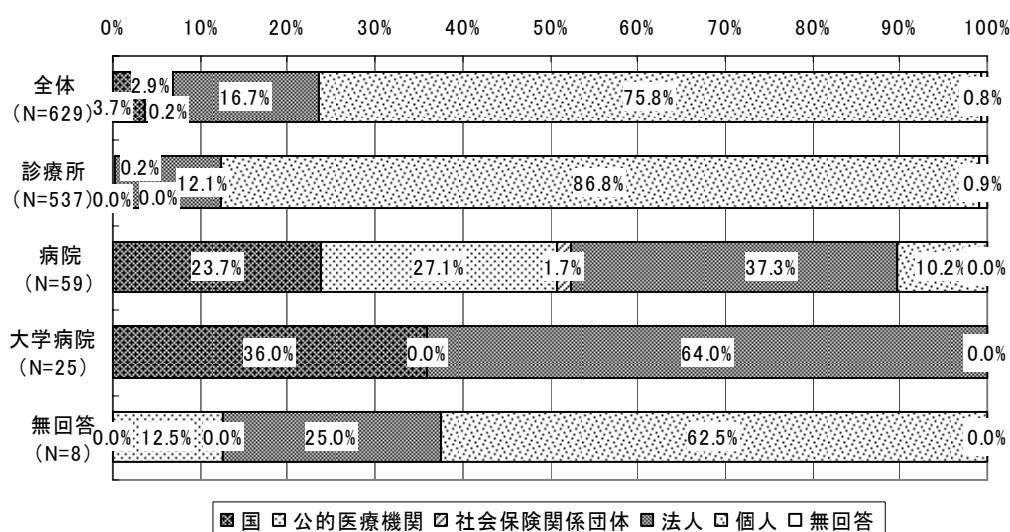
なお、以下本報告書中では、「歯科大学・大学歯学部附属病院」を「大学病院」と表記するものとする。

(2) 施設の状況 (平成 18 年 11 月)

1) 開設主体

開設主体についてみると、診療所では、「個人」(86.8%)が最も多く、次いで「法人」(12.1%)となっており、病院では、「法人」(37.3%)が最も多く、次いで「公的医療機関」(27.1%)となっている。また、大学病院では、「法人」(64.0%)が最も多く、次いで「国」(36.0%)となっている。

図表 4 開設主体



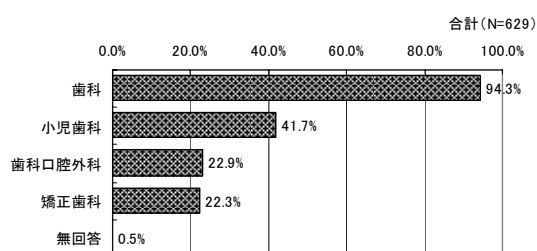
※参考：開設主体の内訳

国	厚生労働省、国立病院機構、国立大学法人、労働者健康福祉機構等
公的医療機関	都道府県、市町村、日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会等
社会保険関係団体	全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合等
法人	公益法人、医療法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人等
個人	

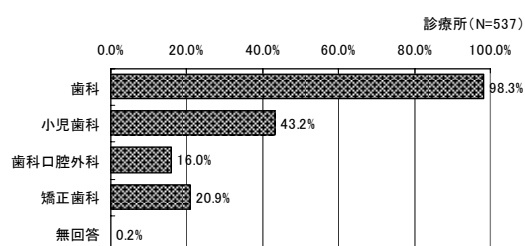
2) 標榜診療科

標榜診療科についてみると、診療所では、「歯科」(98.3%)が最も多く、次いで「小児歯科」(43.2%)となっており、病院では、「歯科口腔外科」と「歯科」(ともに57.6%)が最も多い。また、大学病院では、「歯科」と「歯科口腔外科」(ともに92.0%)が最も多い結果であった。

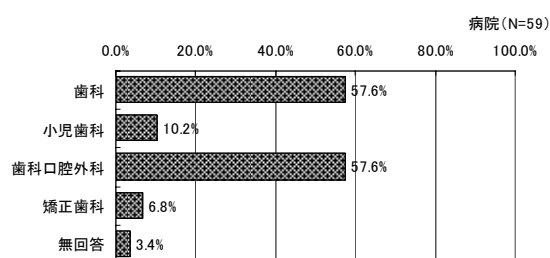
図表 5 標榜診療科 (全体) (複数回答)



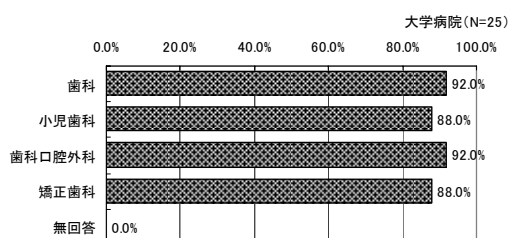
図表 6 標榜診療科 (診療所) (複数回答)



図表 7 標榜診療科 (病院) (複数回答)



図表 8 標榜診療科 (大学病院) (複数回答)

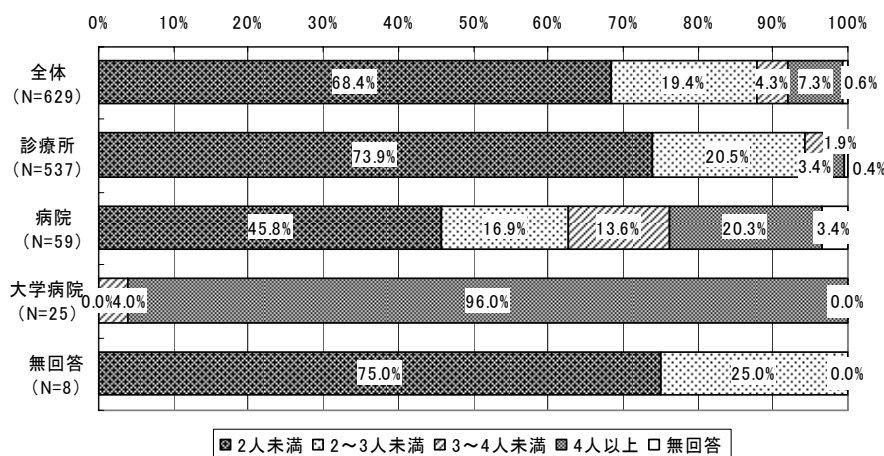


3) 職員数（常勤換算）

歯科医療機関における職員（歯科医師、歯科衛生士、受付秘書・歯科助手・その他の職員数（常勤換算））について調査した。

歯科医師数は、診療所では73.9%が「2人未満」であるが、病院では45.8%が「2人未満」であった。大学病院ではほとんどが「4人以上」であった。

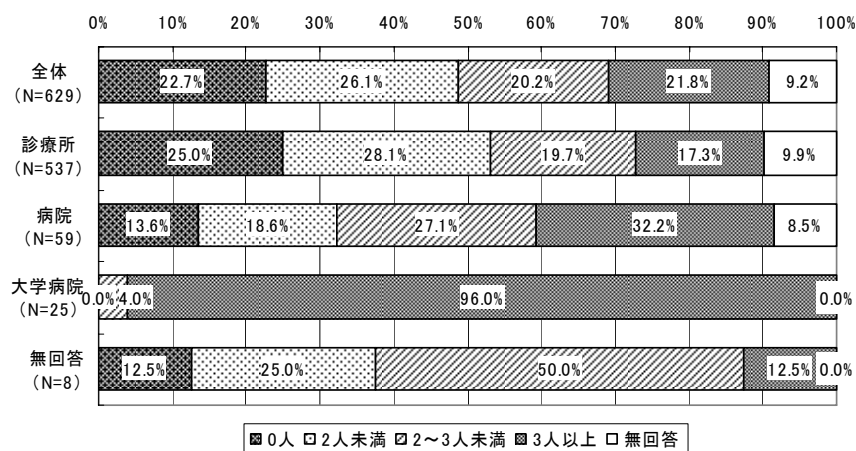
図表 9 歯科医師の職員数（常勤換算）



※非常勤職員等の人数は常勤換算しているため、小数点以下の区分が生じる場合がある。

歯科衛生士数についてみると、診療所では「2人未満」が28.1%、病院では「3人以上」が32.2%と、それぞれ最も多くなっている。大学病院ではほとんどが「3人以上」であった。

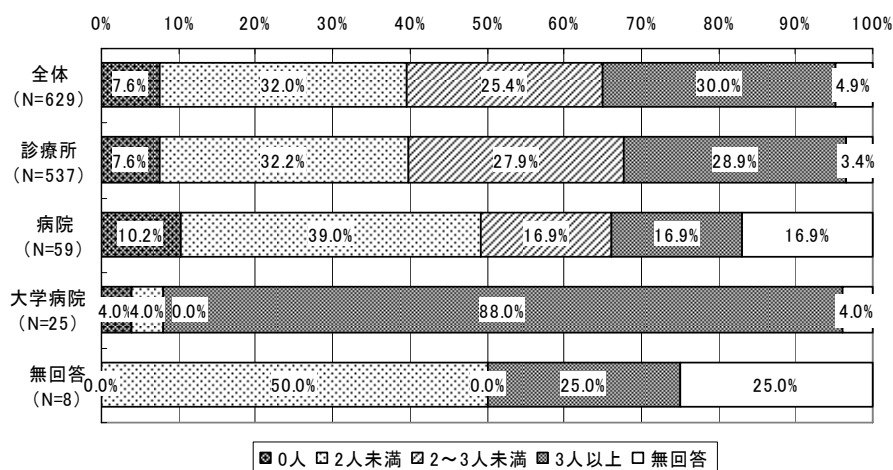
図表 10 歯科衛生士の職員数（常勤換算）



※非常勤職員等の人数は常勤換算しているため、小数点以下の区分が生じる場合がある。

受付秘書・歯科助手・その他の職員数についてみると、診療所では「2人未満」が32.2%、病院では「2人未満」が39.0%と、最も多かった。大学病院ではほとんどが「3人以上」であった。

図表 11 受付秘書・歯科助手・その他の職員数（常勤換算）

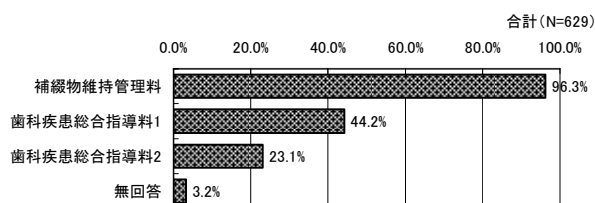


※非常勤職員等の人数は常勤換算しているため、小数点以下の区分が生じる場合がある。

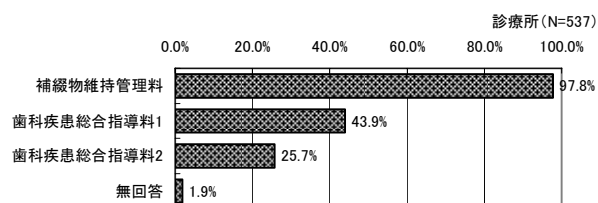
4) 届出施設基準

届出施設基準についてみると、診療所、病院、大学病院いずれの施設においても、「補綴物維持管理料」が最も多く、次いで「歯科疾患総合指導料1」という結果であった。

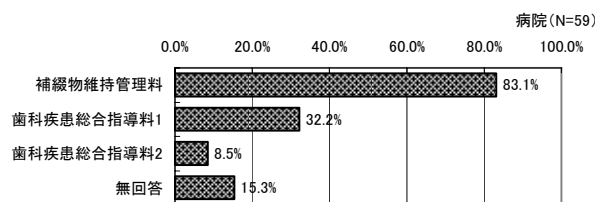
図表 12 届出施設基準（全体）（複数回答）



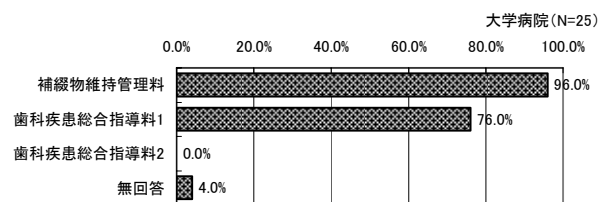
図表 13 届出施設基準（診療所）
（複数回答）



図表 14 届出施設基準（病院）（複数回答）



図表 15 届出施設基準（大学病院）
（複数回答）



(3) 文書提供患者数および文書作成に係る時間数

本調査では、文書を作成し提供した患者数や、文書作成に係る時間について、平成 18 年 11 月 15 日～21 日を対象期間としプロスペクティブ（前向き）に調査した。ただし、再診患者に文書を提供するのは月初めとなることが多い。本調査の実施期間は月の半ばであるため、1 日あたりの平均的な文書を提供する患者数等、文書作成時間数等については、月初めでは本調査結果と比較すると、より多くなると考えられる。

1) 1 日あたり総患者数、文書を作成して提供した総患者数（歯科医師 1 人あたり）

歯科医師 1 人あたりの 1 日あたり平均総患者数、文書を作成して提供した総患者数、総患者数に占める文書提供患者の割合を算出した。1 日あたり平均を算出するにあたっては、総診療時間が「0」の日を休日とみなし、休日を除いた平均を算出した。

その結果、歯科医師 1 人あたりの文書を作成して提供した総患者数は全体で 4.84 人、診療所で 5.81 人、病院で 3.49 人、大学病院で 2.97 人であり、1 日あたり総患者数に占める文書を作成して提供した総患者数の割合の平均は、全体で 33.77%、診療所で 32.04%、病院で 24.04%、大学病院で 39.91%であった。

図表 16 1 日あたり総患者数、文書を作成して提供した総患者数、総患者数に占める文書提供患者割合等（歯科医師 1 人あたり）

		全体 (n=783) 47は無効	診療所 (n=495) 42は無効	病院 (n=56) 3は無効	大学病院 (n=224) 2は無効	不明 (n=8)
総患者数 (人)	平均値	14.99	18.67	12.56	7.38	18.04
	中央値	12.33	17.25	11.47	6.37	19.60
	標準偏差	10.25	10.47	7.69	4.15	9.46
うち 初診患者数 (人)	平均値	2.14	2.78	1.75	0.77	3.34
	中央値	1.50	2.17	1.33	0.40	3.67
	標準偏差	2.26	2.43	1.58	1.08	2.25
うち 再診患者数 (人)	平均値	12.86	15.89	10.80	6.61	14.70
	中央値	11.00	14.33	10.00	5.50	15.69
	標準偏差	8.85	9.17	6.72	3.72	7.36
うち、文書を作成 して提供した総 患者数 (人)	平均値	4.84	5.81	3.49	2.97	6.78
	中央値	3.60	4.67	2.40	2.40	6.14
	標準偏差	4.37	4.72	3.62	2.68	5.20
総患者数に占める 文書提供患者割合 (%)	平均値	33.77	32.04	24.04	39.91	35.89
	中央値	28.66	28.21	23.69	34.72	38.50
	標準偏差	23.86	22.30	19.22	26.75	19.68

2) 1日あたり総診療時間数、文書作成時間数（歯科医師1人あたり）

1日あたり総診療時間数、文書作成に費やした総時間数、総診療時間数に占める文書作成時間割合についても、総診療時間が「0」の日を休日とみなし、休日を除いた1日あたり平均値を算出した。1日あたりの文書作成に要する時間は、全体で25.63分、診療所で30.53分、病院で15.40分、大学病院で17.52分となっている。

また、1日あたり総診療時間に占める文書作成時間割合の平均は、全体で8.03%、診療所で8.92%、病院で6.60%、大学病院で6.40%であった。

図表 17 1日あたり総診療時間数、文書作成に費やした総時間数、総診療時間に占める文書作成時間割合（歯科医師1人あたり）

		全体 (n=783) 47は無効	診療所 (n=495) 42は無効	病院 (n=56) 3は無効	大学病院 (n=224) 2は無効	不明 (n=8)
1日あたり総診療 時間数（分）	平均値	228.35	362.75	245.33	308.06	319.55
	中央値	360.00	398.34	317.50	300.00	319.09
	標準偏差	130.50	132.26	1477.01	101.95	143.79
うち、文書作成 に費やした総 時間数（分）	平均値	25.63	30.53	15.40	17.52	20.92
	中央値	19.00	22.73	8.60	13.17	15.00
	標準偏差	26.86	30.45	17.44	15.62	14.32
総診療時間数に占 める文書作成時間 割合（%）	平均値	8.03	8.92	6.60	6.40	8.21
	中央値	6.11	6.94	4.46	4.59	5.22
	標準偏差	8.88	9.31	6.36	8.21	7.09

また、以上の結果から、患者1人あたりの文書作成に要する時間は、全体で約5分（＝約26分／約5人）と推察できる（診療所で5.3分、病院で4.4分、大学病院で5.9分）。

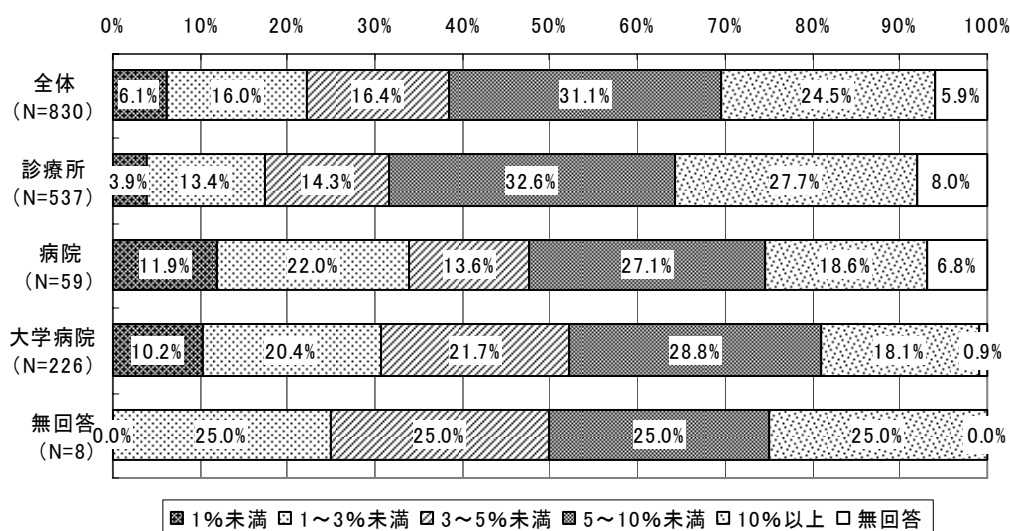
- ※ 総患者数、文書を作成して提供した総患者数、総診療時間数、文書作成に費やした総時間数のいずれかが無回答の曜日データは除き（無効とした）、1日当たりの数値を集計した。さらに病院、診療所においては歯科医師数（常勤換算）で除し、歯科医師1人当たりの数値とした。大学病院においては調査票を1人あたりで作成しているため、歯科医師数で除していない。
- ※ なお、病院、診療所において、施設の歯科医師数（常勤換算）が1人に満たない場合には、実際に診療している時間には実人数1人とみなし、1人で除すものとした。
- ※ 総患者数に占める文書提供患者割合（%）、総診療時間数に占める文書作成時間割合（%）の平均は、施設ごとの割合を平均したものである。

3) 1日あたり総診療時間数に占める文書作成時間割合（歯科医師1人あたり）

1日あたり総診療時間数に占める文書作成時間割合の分布状況についてみると、診療所では「5%～10%未満」（32.6%）が最も多く、次いで「10%以上」（27.7%）となっており、病院では「5%～10%未満」（27.1%）が最も多く、次いで「1～3%未満」（22.0%）となっている。大学病院では、「5%～10%未満」（28.8%）が最も多く、次いで「3～5%未満」（21.7%）となっている。

ただし、前述したように、調査期間を月初めに設定した場合には、実際の1日あたりの文書作成に要する時間は、この結果より多いものと考えられる。

図表 18 1日あたり総診療時間に占める文書作成時間割合の分布

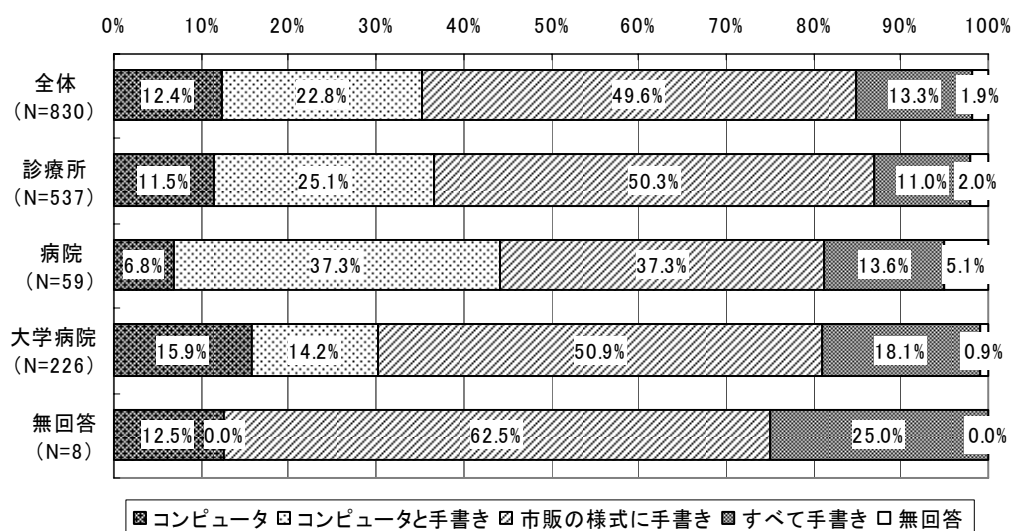


(4) 文書の作成方法

1) 文書作成方法

文書を作成する方法についてみると、診療所では、「市販の様式に手書き」(50.3%)が最も多く、次いで「コンピュータと手書き」(25.1%)となっており、病院では、「市販の様式に手書き」(37.3%)、「コンピュータと手書き」(37.3%)が最も多くなっている。また、大学病院においては、「市販の様式に手書き」(50.9%)が最も多く、次いで「すべて手書き」(18.1%)という結果であった。

図表 19 文書作成方法



2) 文書作成方法と文書作成時間との関連

1日あたり文書作成に費やした総時間数を文書作成方法別にみると、以下のとおりである。

図表 20 文書作成方法別にみた文書作成時間（診療所）

	合計	10分未満	10分～19分	20分～29分	30分～39分	40分以上	無回答
合計	537	93 17.3%	120 22.3%	83 15.5%	143 26.6%	55 10.2%	43 8.0%
コンピュータ	62	8 12.9%	13 21.0%	6 9.7%	17 27.4%	10 16.1%	8 12.9%
コンピュータと手書き	135	13 9.6%	30 22.2%	23 17.0%	47 34.8%	16 11.9%	6 4.4%
市販の様式に手書き	270	52 19.3%	66 24.4%	44 16.3%	67 24.8%	25 9.3%	16 5.9%
すべて手書き	59	18 30.5%	11 18.6%	9 15.3%	9 15.3%	3 5.1%	9 15.3%
無回答	11	2 18.2%	-	1 9.1%	3 27.3%	1 9.1%	4 36.4%

図表 21 文書作成方法別にみた文書作成時間（病院）

	合計	10分未満	10分～19分	20分～29分	30分～39分	40分以上	無回答
合計	59	29 49.2%	12 20.3%	3 5.1%	9 15.3%	2 3.4%	4 6.8%
コンピュータ	4	2 50.0%	1 25.0%	-	1 25.0%	-	-
コンピュータと手書き	22	11 50.0%	5 22.7%	1 4.5%	3 13.6%	-	2 9.1%
市販の様式に手書き	22	9 40.9%	6 27.3%	2 9.1%	3 13.6%	2 9.1%	-
すべて手書き	8	5 62.5%	-	-	2 25.0%	-	1 12.5%
無回答	3	2 66.7%	-	-	-	-	1 33.3%

図表 22 文書作成方法別にみた文書作成時間（大学病院）

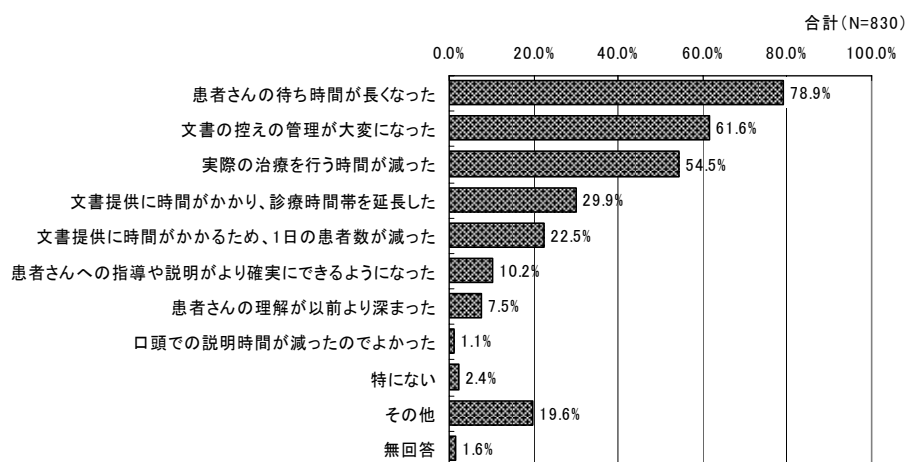
	合計	10分未満	10分～19分	20分～29分	30分～39分	40分以上	無回答
合計	226	81 35.8%	65 28.8%	40 17.7%	31 13.7%	7 3.1%	2 0.9%
コンピュータ	36	17 47.2%	7 19.4%	6 16.7%	6 16.7%	-	-
コンピュータと手書き	32	8 25.0%	10 31.3%	3 9.4%	7 21.9%	4 12.5%	-
市販の様式に手書き	115	41 35.7%	37 32.2%	24 20.9%	11 9.6%	1 0.9%	1 0.9%
すべて手書き	41	15 36.6%	10 24.4%	7 17.1%	7 17.1%	2 4.9%	-
無回答	2	-	1 50.0%	-	-	-	1 50.0%

(5) 文書提供による診療への影響

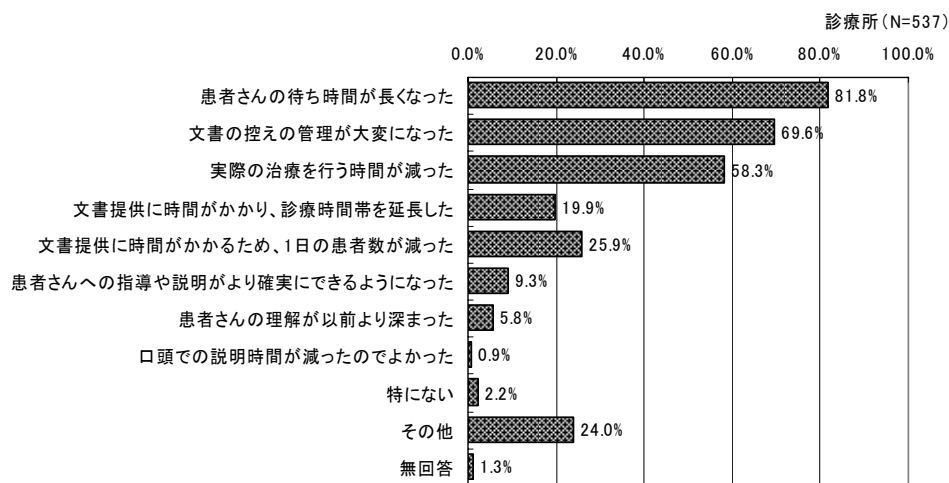
1) 文書提供による診療への影響

文書提供による診療への影響についてみると、診療所では、「患者さんの待ち時間が長くなった」(81.8%)が最も多く、次いで「文書の控えの管理が大変になった」(69.6%)となっており、病院では、「患者さんの待ち時間が長くなった」(64.4%)が最も多く、次いで「文書の控えの管理が大変になった」(57.6%)となっている。また、大学病院では、「患者さんの待ち時間が長くなった」(76.1%)が最も多く、次いで「文書提供に時間がかかり診療時間を延長した」(53.5%)となっている。

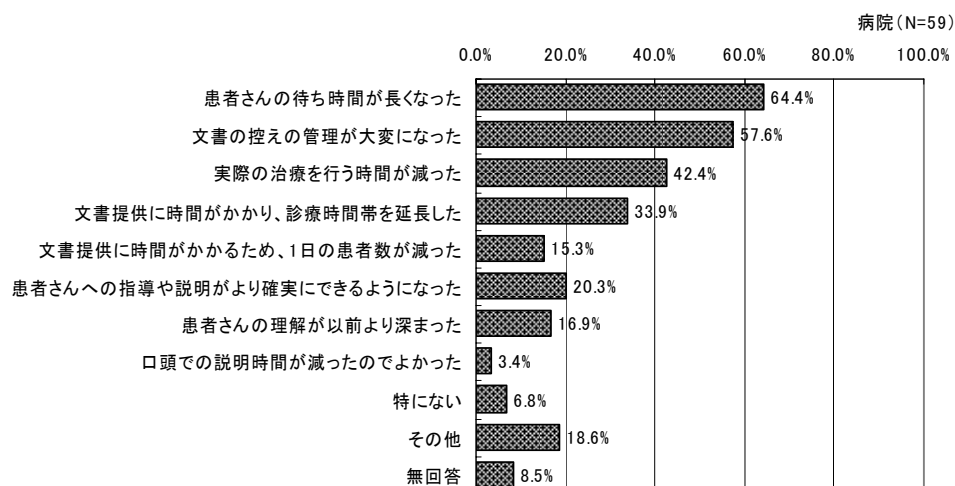
図表 23 文書提供による診療への影響（全体）（複数回答）



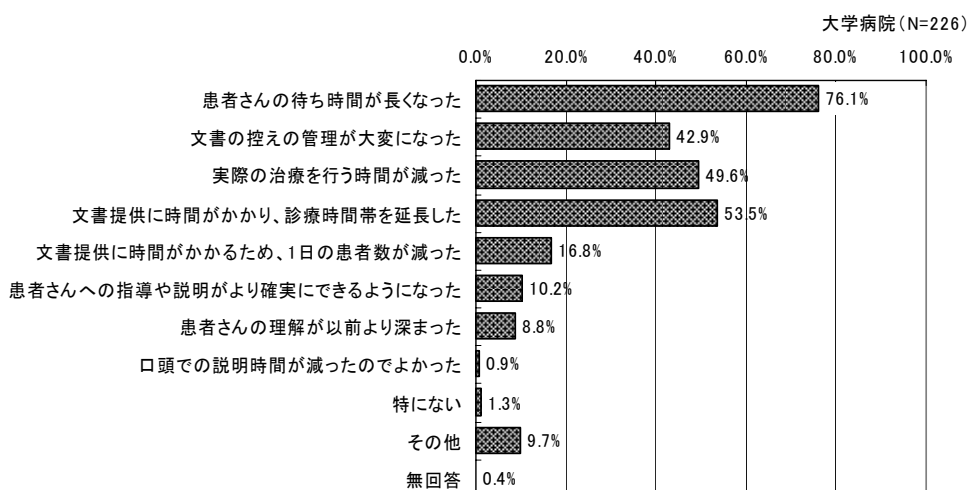
図表 24 文書提供による診療への影響（診療所）（複数回答）



図表 25 文書提供による診療への影響（病院）（複数回答）



図表 26 文書提供による診療への影響（大学病院）（複数回答）



2) 文書提供による診療への影響

1日あたり総診療時間に占める文書作成時間割合と、文書提供による診療への影響（複数回答）についてみると、1日あたり総診療時間に占める文書作成時間割合が1%未満と回答した群では25.5%が、10%以上と回答した群では71.9%が「実際の治療を行う時間が減った」と回答しており、文書作成時間割合が高いほど治療時間が減ったと認識している傾向が見られている（図表26）。同様の傾向は、「患者さんの待ち時間が長くなった」、「文書提供に時間がかかるため、1日の患者数が減った」、「文書の控えの管理が大変になった」でも見られている。また、1日あたり総患者数に占める文書提供患者割合別にみると、「実際の治療を行う時間が減った」で同様の傾向が見られた（図表27）。

図表 27 1日あたり総診療時間に占める文書作成時間割合にみた、文書提供による診療への影響（全体）（複数回答）

	合計	なにかや患者さんへのよう指示	説明がよりの確	患者さんの説明時間	減ったのでよ	口頭での説明時間	以前より深い理解が	患者さんの理	実際の治療を行う	時間減った	患者数が減った	患者さんへの待ち時間	文書提供に時間がかか	文書提供に時間がか	間患者さんの待ち時	が大変になった	文書の控えの管理	特にな	その他	無回答
合計	830	85 10.2%	9 1.1%	62 7.5%	452 54.5%	187 22.5%	248 29.9%	655 78.9%	511 61.6%	20 2.4%	163 19.6%	13 1.6%								
1%未満	51	5 9.8%	1 2.0%	3 5.9%	13 25.5%	4 7.8%	16 31.4%	24 47.1%	19 37.3%	4 7.8%	7 13.7%	4 7.8%								
1~3%未満	133	14 10.5%	1 0.8%	10 7.5%	53 39.8%	15 11.3%	41 30.8%	99 74.4%	72 54.1%	4 3.0%	20 15.0%	-								
3~5%未満	136	12 8.8%	1 0.7%	11 8.1%	69 50.7%	30 22.1%	44 32.4%	100 73.5%	79 58.1%	4 2.9%	27 19.9%	1 0.7%								
5~10%未満	258	23 8.9%	2 0.8%	16 6.2%	148 57.4%	53 20.5%	79 30.6%	226 87.6%	168 65.1%	5 1.9%	42 16.3%	-								
10%以上	203	26 12.8%	3 1.5%	19 9.4%	146 71.9%	74 36.5%	60 29.6%	172 84.7%	145 71.4%	2 1.0%	60 29.6%	1 0.5%								
無回答	49	5 10.2%	1 2.0%	3 6.1%	23 46.9%	11 22.4%	8 16.3%	34 69.4%	28 57.1%	1 2.0%	7 14.3%	7 14.3%								

図表 28 1日あたり総患者数に占める文書提供患者割合にみた文書提供による診療への影響（全体）（複数回答）

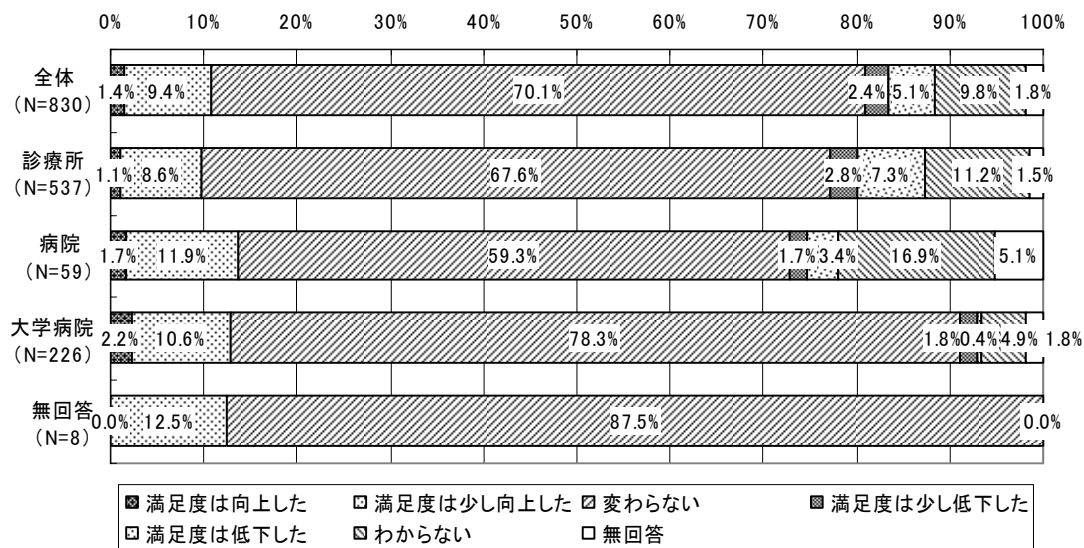
	合計	なにかや患者さんへのよう指示	説明がよりの確	患者さんの説明時間	減ったのでよ	口頭での説明時間	以前より深い理解が	患者さんの理	実際の治療を行う	時間減った	患者数が減った	患者さんへの待ち時間	文書提供に時間がかか	文書提供に時間がか	間患者さんの待ち時	が大変になった	文書の控えの管理	特にな	その他	無回答
合計	830	85 10.2%	9 1.1%	62 7.5%	452 54.5%	187 22.5%	248 29.9%	655 78.9%	511 61.6%	20 2.4%	163 19.6%	13 1.6%								
0%	24	1 4.2%	1 4.2%	1 4.2%	3 12.5%	-	7 29.2%	8 33.3%	6 25.0%	4 16.7%	4 16.7%	4 16.7%								
1~10%未満	61	9 14.8%	1 1.6%	6 9.8%	25 41.0%	14 23.0%	18 29.5%	43 70.5%	35 57.4%	-	6 9.8%	-								
10~30%未満	328	36 11.0%	4 1.2%	22 6.7%	170 51.8%	64 19.5%	97 29.6%	258 78.7%	195 59.5%	9 2.7%	64 19.5%	-								
30~50%未満	216	17 7.9%	-	12 5.6%	138 63.9%	58 26.9%	64 29.6%	194 89.8%	164 75.9%	2 0.9%	53 24.5%	2 0.9%								
50%以上	152	17 11.2%	2 1.3%	18 11.8%	93 61.2%	40 26.3%	54 35.5%	118 77.6%	83 54.6%	4 2.6%	29 19.1%	-								
無回答	49	5 10.2%	1 2.0%	3 6.1%	23 46.9%	11 22.4%	8 16.3%	34 69.4%	28 57.1%	1 2.0%	7 14.3%	7 14.3%								

(6) 歯科医師の立場から見た文書提供を受けた患者の主な反応

1) 治療に対する患者の満足度

歯科医師の立場からみた、治療に関する患者の満足度についてみると、診療所においては、「変わらない」(67.6%)が最も多く、次いで「わからない」(11.2%)となっており、病院においては、「変わらない」(59.3%)が最も多く、次いで「わからない」(16.9%)となっている。また、大学病院においては、「変わらない」(78.3%)が最も多く、次いで「満足度は少し向上した」(10.6%)となっている。

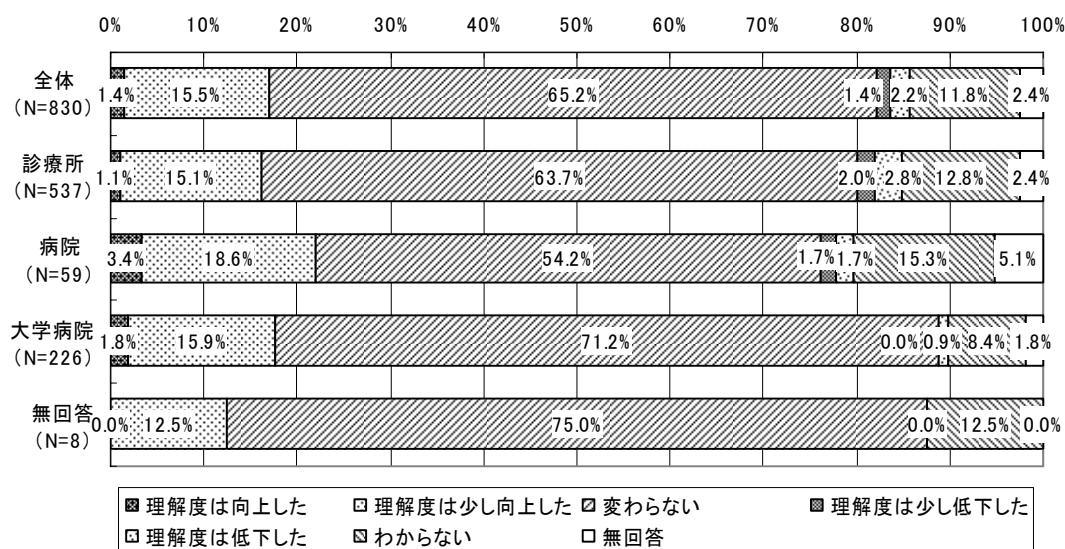
図表 29 治療に対する患者の満足度



2) 治療内容に関する患者の理解度

歯科医師の立場からみた、治療内容に関する患者の理解度についてみると、診療所、病院、大学病院のいずれの医療機関においても「変わらない」が最も多い結果であった。しかしながら、いずれの医療機関でも、約 20%程度が「理解度は向上した／理解度は少し向上した」と回答している。

図表 30 治療内容に関する患者の理解度



3) 患者の満足度・理解度と文書提供の診療への影響との関連

歯科医師からみた患者の満足度と文書提供の診療への影響（複数回答）との関連についてみると、「満足度は向上した/少し向上した」と回答した群では、「患者さんへの指導や説明がより確実にできるようになった」、「患者さんの理解が以前より深まった」などの、影響の肯定的な回答が多く見られている。一方で、「患者さんの待ち時間が長くなった」との回答も 5 割以上を占めていた。歯科医師からみた患者の理解度と文書提供の診療への影響との関連においても、同様の傾向が見られた。

図表 31 患者の満足度と文書提供の診療への影響との関連（全体）

	合計	な に で さ る が よ う に 確 実	や 説 明 が よ り の 指 導	患 者 さ ん へ の 指 導	か つ た の 説 明 時 間	口 頭 で の 説 明 が よ り 深 ま っ た	以 前 よ り 深 ま っ た	患 者 さ ん の 理 解 が よ り 深 ま っ た	時 間 の 減 ら な い	実 際 の 治 療 時 間 が 減 ら な い	の か か る 数 が 減 ら な い	文 書 提 供 の 時 間 が 減 ら な い	帯 を 延 び た 診 療 時 間 が 減 ら な い	文 書 提 供 の 時 間 が 減 ら な い	間 が 長 く な っ た	患 者 さ ん の 待 ち 時 間 が 長 く な っ た	が 大 変 に な っ た	文 書 の 管 理 が よ り 確 実 に な っ た	特 に な い	そ の 他	無 回 答		
合 計	830	85 10.2%	9 1.1%	62 7.5%	452 54.5%	187 22.5%	248 29.9%	655 78.9%	511 61.6%	20 2.4%	163 19.6%	13 1.6%											
満足度は向上した	12	10 83.3%	4 33.3%	7 58.3%	4 33.3%	2 16.7%	3 25.0%	6 50.0%	5 41.7%	-	2 16.7%	-	3 25.0%	6 50.0%	6 50.0%	5 41.7%	2 16.7%	2 16.7%	5 41.7%	-	3 25.0%	1 8.3%	
満足度は少し向上した	78	34 43.6%	4 5.1%	25 32.1%	37 47.4%	15 19.2%	20 25.6%	51 65.4%	43 55.1%	-	11 14.1%	-	15 19.2%	20 25.6%	48 61.5%	36 46.1%	11 14.1%	10 12.8%	36 46.1%	11 14.1%	10 12.8%	1 1.3%	
変わらない	582	35 6.0%	5 0.9%	28 4.8%	319 38.4%	128 15.5%	184 22.3%	482 58.2%	368 45.3%	11 1.4%	100 12.7%	1 0.1%	15 1.9%	19 2.4%	17 2.1%	17 2.1%	17 2.1%	33 4.1%	33 4.1%	11 1.4%	100 12.7%	1 0.1%	
満足度は少し低下した	20	-	-	-	15 75.0%	11 55.0%	8 40.0%	19 95.0%	17 85.0%	-	7 35.0%	-	8 40.0%	19 95.0%	17 85.0%	17 85.0%	17 85.0%	33 165.0%	33 165.0%	11 55.0%	7 35.0%	23 115.0%	-
満足度は低下した	42	-	-	-	34 81.0%	19 45.2%	8 19.0%	40 95.2%	33 78.6%	-	23 54.8%	-	8 19.0%	40 95.2%	33 78.6%	40 95.2%	40 95.2%	33 78.6%	33 78.6%	9 21.4%	20 47.6%	2 4.8%	-
わからない	81	5 6.2%	-	2 2.5%	40 49.4%	10 12.3%	23 28.4%	52 64.2%	43 53.1%	9 11.1%	20 24.7%	2 2.5%	10 12.3%	23 28.4%	52 64.2%	43 53.1%	43 53.1%	53 65.3%	53 65.3%	9 11.1%	20 24.7%	2 2.5%	-
無回答	15	1 6.7%	-	-	3 20.0%	2 13.3%	2 13.3%	5 33.3%	2 13.3%	-	10 66.7%	-	2 13.3%	5 33.3%	2 13.3%	2 13.3%	2 13.3%	2 13.3%	2 13.3%	-	10 66.7%	1 6.7%	-

図表 32 患者の理解度と文書提供の診療への影響との関連（全体）

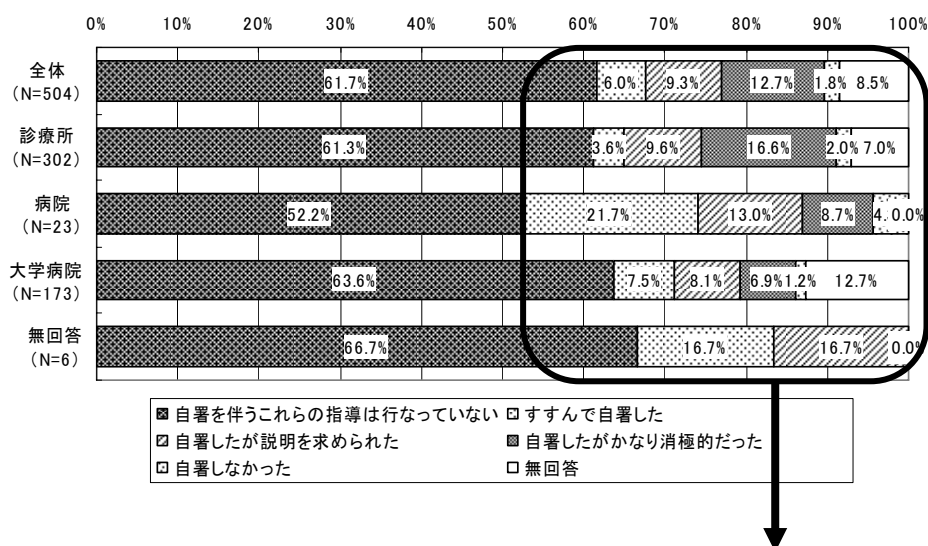
	合計	な に で さ る が よ う に 確 実	や 説 明 が よ り の 指 導	患 者 さ ん へ の 指 導	か つ た の 説 明 時 間	口 頭 で の 説 明 が よ り 深 ま っ た	以 前 よ り 深 ま っ た	患 者 さ ん の 理 解 が よ り 深 ま っ た	時 間 の 減 ら な い	実 際 の 治 療 時 間 が 減 ら な い	の か か る 数 が 減 ら な い	文 書 提 供 の 時 間 が 減 ら な い	帯 を 延 び た 診 療 時 間 が 減 ら な い	文 書 提 供 の 時 間 が 減 ら な い	間 が 長 く な っ た	患 者 さ ん の 待 ち 時 間 が 長 く な っ た	が 大 変 に な っ た	文 書 の 管 理 が よ り 確 実 に な っ た	特 に な い	そ の 他	無 回 答		
合 計	830	85 10.2%	9 1.1%	62 7.5%	452 54.5%	187 22.5%	248 29.9%	655 78.9%	511 61.6%	20 2.4%	163 19.6%	13 1.6%											
理解度は向上した	12	7 58.3%	-	4 33.3%	4 33.3%	1 8.3%	1 8.3%	6 50.0%	5 41.7%	-	3 25.0%	-	1 8.3%	1 8.3%	6 50.0%	6 50.0%	5 41.7%	3 25.0%	5 41.7%	-	3 25.0%	1 8.3%	-
理解度は少し向上した	129	51 39.5%	4 3.1%	43 33.3%	59 45.7%	23 17.8%	40 31.0%	89 69.0%	77 59.7%	-	15 11.6%	-	23 17.8%	40 31.0%	89 69.0%	89 69.0%	77 59.7%	77 59.7%	77 59.7%	11 8.5%	102 79.1%	1 0.8%	-
変わらない	541	20 3.7%	5 0.9%	12 2.2%	306 56.6%	131 24.2%	164 30.3%	451 83.4%	344 63.6%	11 2.0%	102 18.9%	1 0.2%	15 2.8%	16 3.0%	104 19.2%	104 19.2%	104 19.2%	104 19.2%	104 19.2%	11 2.0%	102 18.9%	1 0.2%	-
理解度は少し低下した	12	-	-	-	10 83.3%	5 41.7%	5 41.7%	10 83.3%	10 83.3%	-	6 50.0%	-	5 41.7%	10 83.3%	10 83.3%	10 83.3%	10 83.3%	10 83.3%	10 83.3%	10 83.3%	11 91.7%	1 8.3%	-
理解度は低下した	18	-	-	-	16 88.9%	12 66.7%	4 22.2%	18 100.0%	15 83.3%	-	9 50.0%	-	4 22.2%	18 100.0%	15 83.3%	18 100.0%	18 100.0%	15 83.3%	15 83.3%	9 50.0%	9 50.0%	27 150.0%	-
わからない	98	6 6.1%	-	3 3.1%	50 51.0%	13 13.3%	31 31.6%	72 73.5%	53 54.1%	9 9.2%	27 27.6%	1 1.0%	6 6.1%	13 13.3%	31 31.6%	72 73.5%	72 73.5%	53 54.1%	53 54.1%	9 9.2%	27 27.6%	1 1.0%	-
無回答	20	1 5.0%	-	-	7 35.0%	2 10.0%	3 15.0%	9 45.0%	7 35.0%	-	10 50.0%	-	2 10.0%	3 15.0%	9 45.0%	9 45.0%	9 45.0%	7 35.0%	7 35.0%	9 45.0%	1 5.0%	10 50.0%	-

4) 歯科疾患総合指導および継続管理診断に際して、自署を求められた患者の主な反応

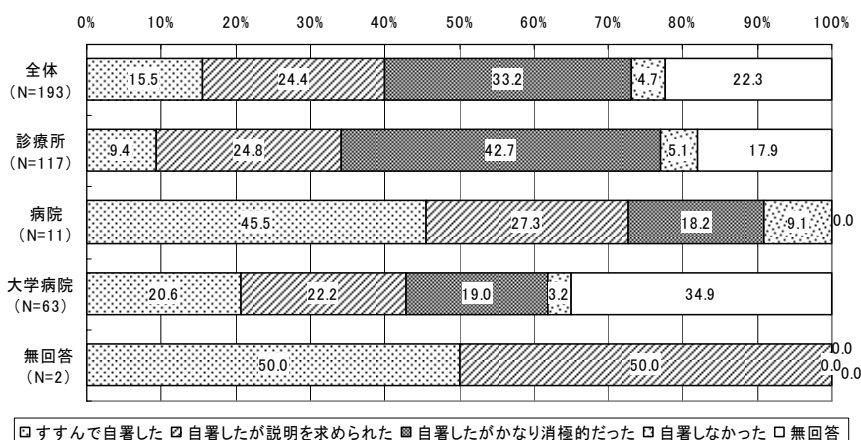
歯科疾患総合指導料 1 もしくは 2 を届出ている医療機関（504 施設：診療所、病院は施設ベース、大学病院は個人票ベース）において、歯科疾患総合指導および継続管理診断に際して、自署を求められた患者の反応を調査した結果、いずれの医療機関においても約 60% が「自署を伴うこれらの指導は行っていない」と回答している。また、実際に自署を求められた患者の反応では、診療所においては 16.6% が「自署したがかなり消極的だった」と回答している。

なお、実際に指導を行っている医療機関の状況をみると、病院では 45.5% が「進んで自署した」のに対し、診療所では「自署したがかなり消極的だった」が 42.7% を占めていた。

図表 33 歯科疾患総合指導および継続管理診断に際して、自署を求められた患者の主な反応



図表 34 歯科疾患総合指導および継続管理診断に際して、自署を求められた患者の主な反応
(実際に歯科疾患総合指導および継続管理診断を実施している医療機関)



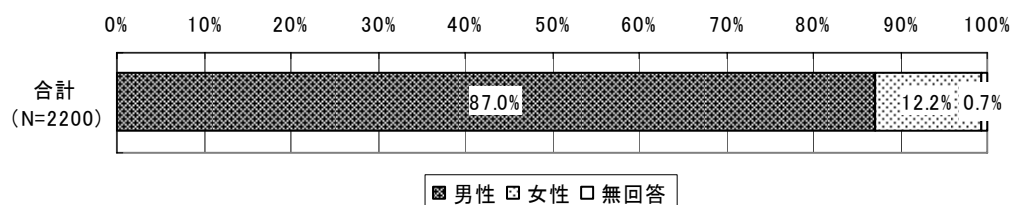
(7) 患者の状況 (患者調査より)

1) 患者の属性

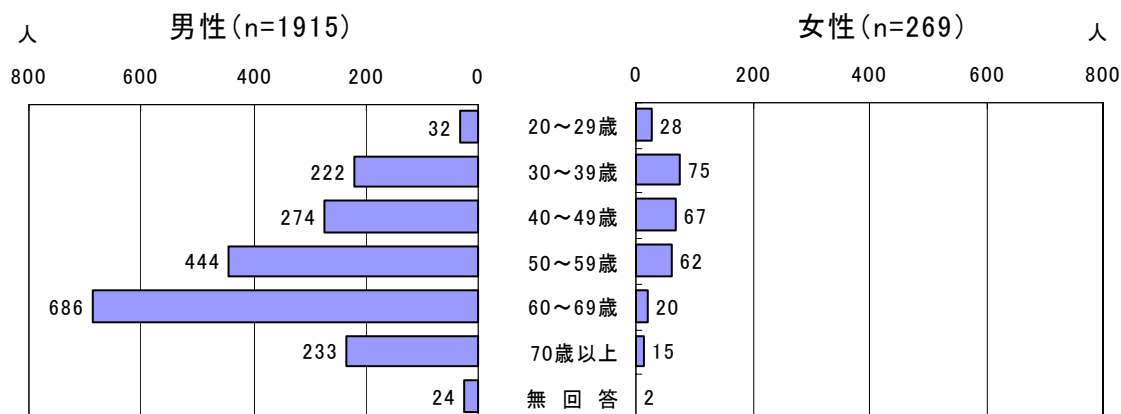
調査対象患者の性別は、男性が1,915人、女性が269人、無回答が16人、合計2,200人となっている。また、男性と女性の年齢分布についてみると、男性では「60～69歳」(686人)が最も多く、女性では「30～39歳」(75人)が最も多くなっている。

なお、本調査の対象者については、A健康保険組合の被保険者本人であるため、女性に比べ男性が多くなっている(平成18年9月時点の同健康保険組合データでは男性86.9%、女性13.1%)。

図表 35 調査対象患者の性別



図表 36 調査対象患者の年齢

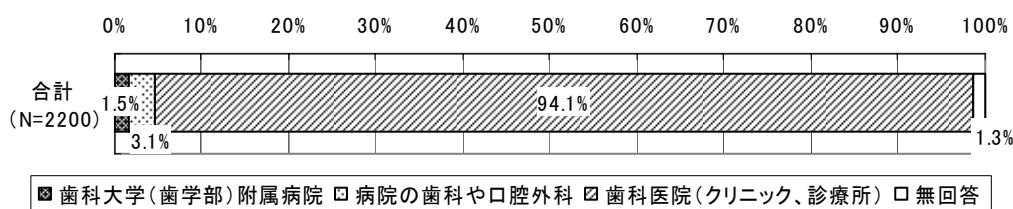


※性別無回答の16人を除く。

2) 現在受診している歯科医療機関の種類

現在受診している（あるいは過去4ヶ月以内に受診した）歯科医療機関の種類についてみると、「歯科医院（クリニック、診療所）」（94.1%）が最も多く、次いで「病院の歯科や口腔外科」（3.1%）となっており、ほとんどが歯科医院を受診しているという結果であった。なお、複数の歯科医療機関を受診した場合については、最近の受診について回答いただいている。

図表 37 受診している歯科医療機関の種類

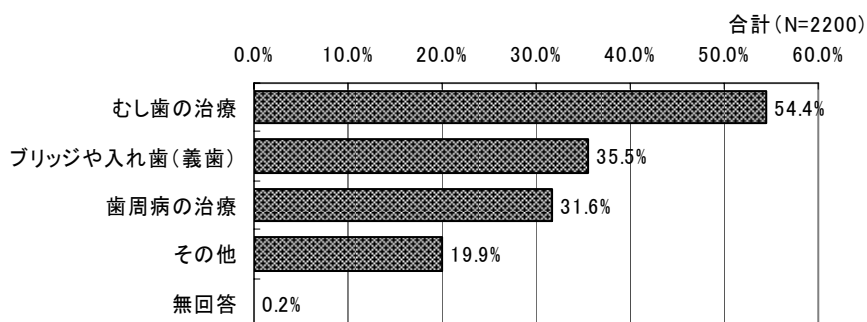


3) 歯科医療機関を受診した理由

歯科医療機関を受診した理由についてみると、「むし歯の治療」（54.4%）が最も多く、次いで「ブリッジや入れ歯（義歯）」（35.5%）となっている。

「その他」のうち、代表的な意見は、定期健診、歯石の除去、インプラント、歯が欠けた等であった。

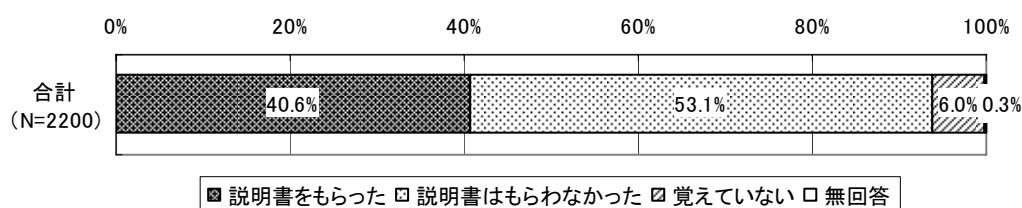
図表 38 受診理由（複数回答）



4) 説明書（文書）受領の有無

治療の際に説明書（文書）を受け取ったか否かについてみると、「説明書をもらった」が40.6%（894人）、「説明書はもらわなかった」が53.1%（1,168人）、「覚えていない」が6.0%（131人）となっている（※必ずしも受診した患者すべてに説明書（文書）が交付されるわけではない）。

図表 39 説明書（文書）受領の有無

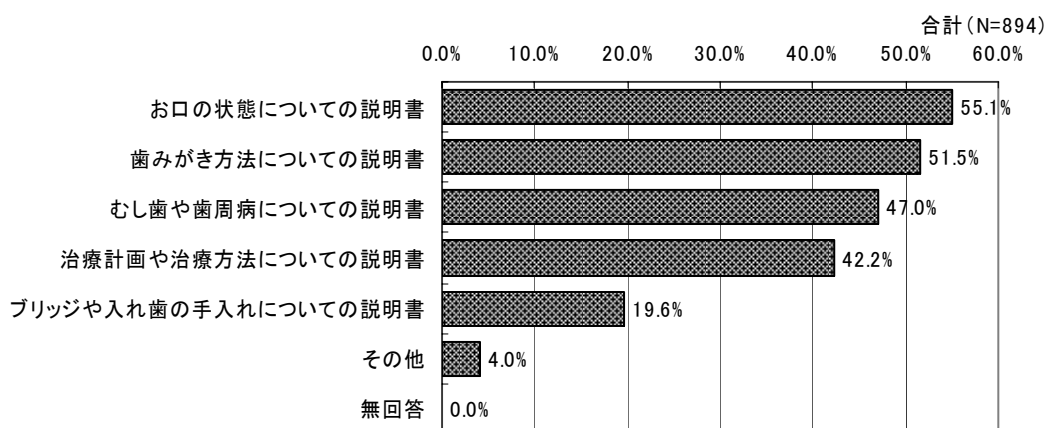


なお、本節の以降は説明書（文書）をもらった患者894人についての分析である。

5) 説明書（文書）の内容

説明書（文書）をもらった患者894人のうち、もらった説明書（文書）の内容についてみると、「お口の状態についての説明書」（55.1%）が最も多く、次いで「歯みがき方法についての説明書」（51.5%）となっている。

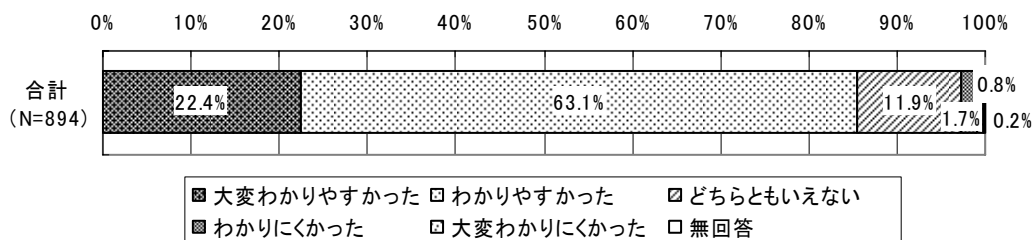
図表 40 説明書（文書）の内容（複数回答）



6) 説明書（文書）の内容のわかりやすさ

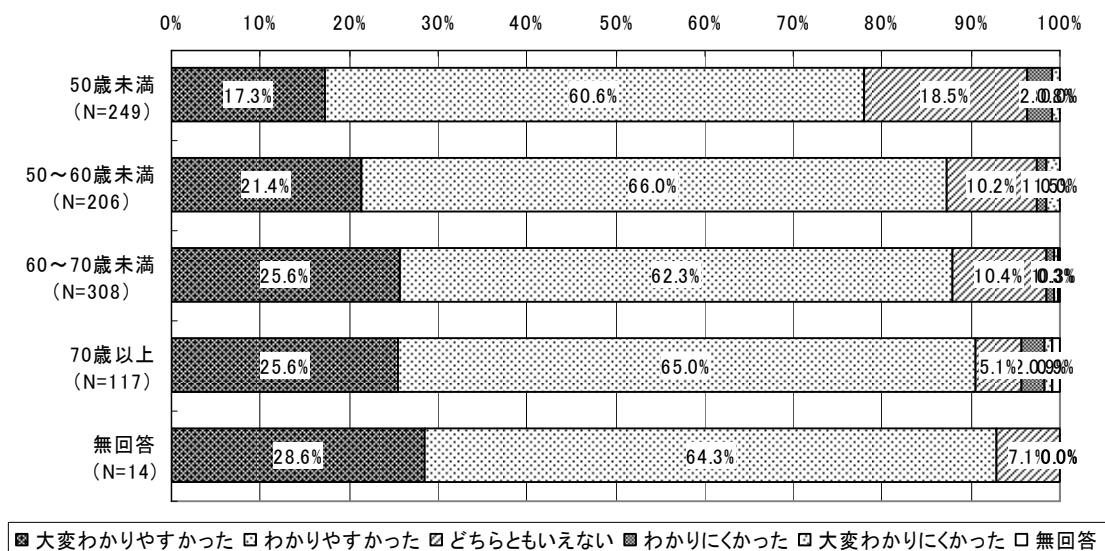
説明書（文書）のわかりやすさについてみると、「わかりやすかった」（63.1%）が最も多く、「大変わかりやすかった」（22.4%）を合わせると、約 85%がわかりやすいと回答している。

図表 41 説明書（文書）のわかりやすさ



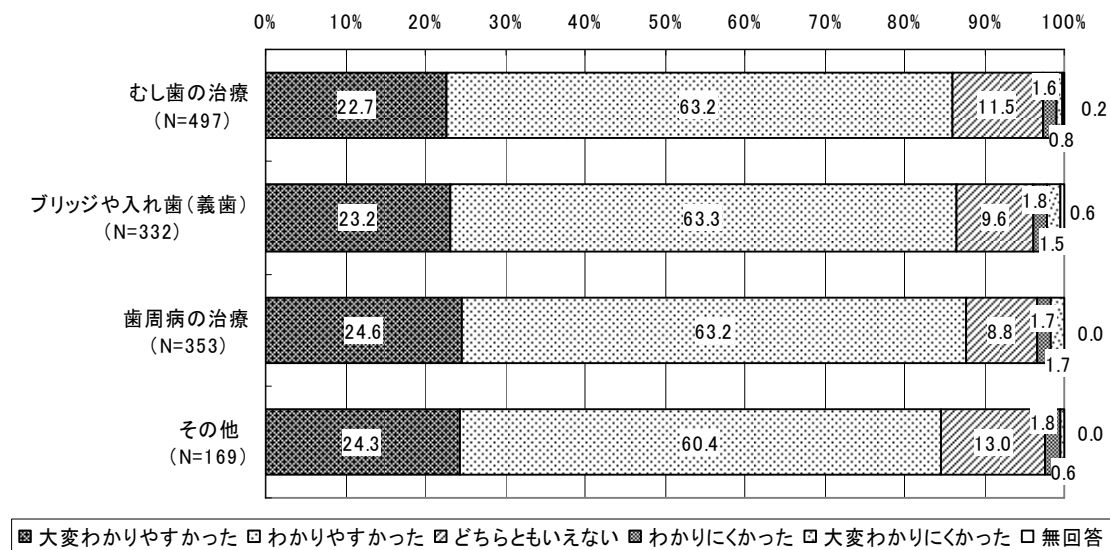
これを年齢別に見ると、50歳未満と比較して70歳以上の方が「大変わかりやすかった」、「わかりやすかった」との回答が多く、70歳以上では約90%がわかりやすいと回答している。年齢が上がるほど文書の内容を「わかりやすい」と捉える人が多い傾向であった。

図表 42 説明書（文書）のわかりやすさ（年齢別）



受診理由別（虫歯の治療、歯周病の治療、ブリッジや入れ歯（義歯）等）で、文書の「わかりやすさ」に大きな差は認められなかった。

図表 43 説明書（文書）のわかりやすさ（受診理由別）

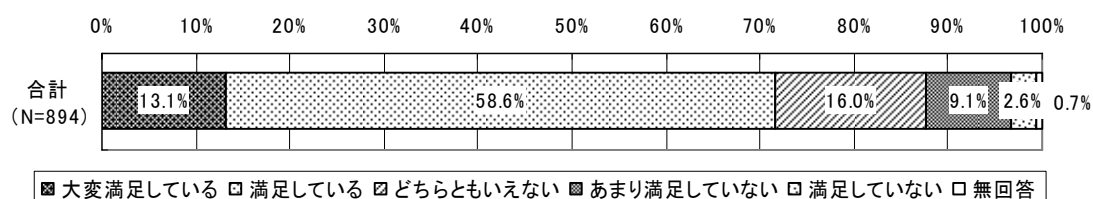


※受診理由は複数回答

7) 説明書（文書）をもらったことに対する満足度

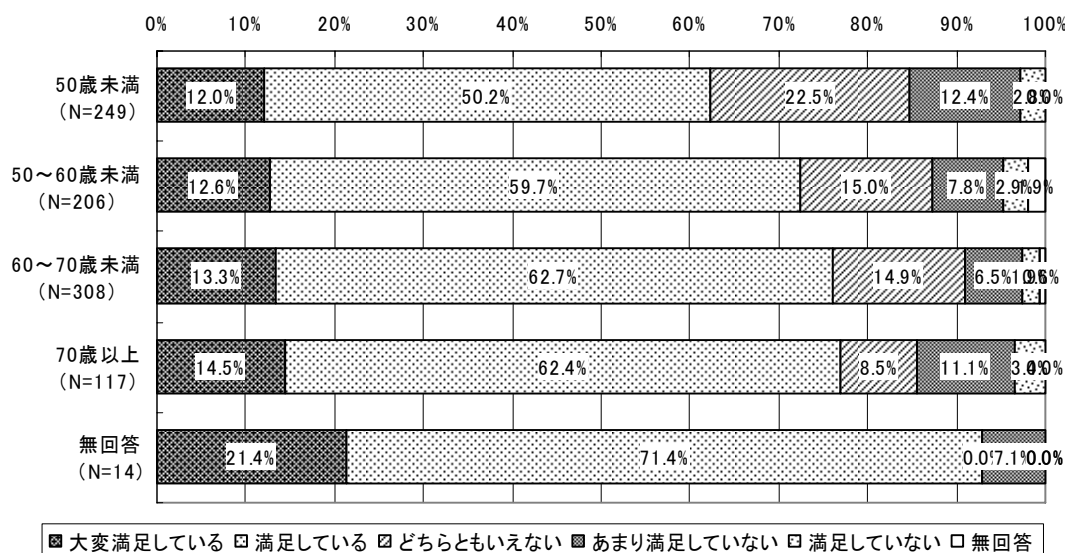
説明書（文書）をもらったことに対する満足度についてみると、「満足している」（58.6%）が最も多く、「大変満足している」（13.1%）とあわせると、約70%が満足していると回答している。

図表 44 説明書（文書）への満足度



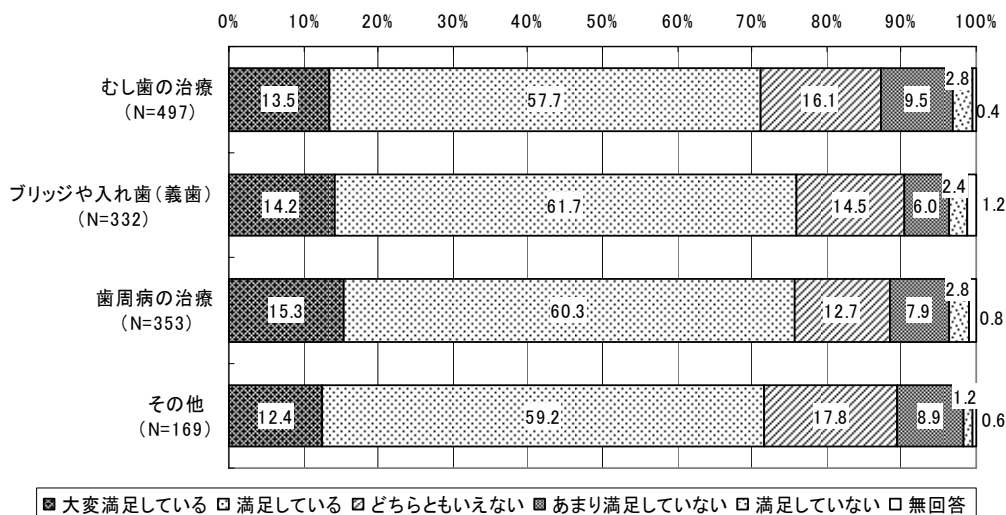
これを年齢別に見ると、50歳未満と比較して70歳以上の方が「大変満足している」、「満足している」との回答が多くなっており、年齢が上がるほど文書提供に対して満足感を得ている人が多かった。

図表 45 説明書（文書）への満足度（年齢別）



受診理由別（受診理由が虫歯の治療、歯周病の治療、ブリッジや入れ歯（義歯）等で、文書に対する満足度に大きな差は認められなかった。

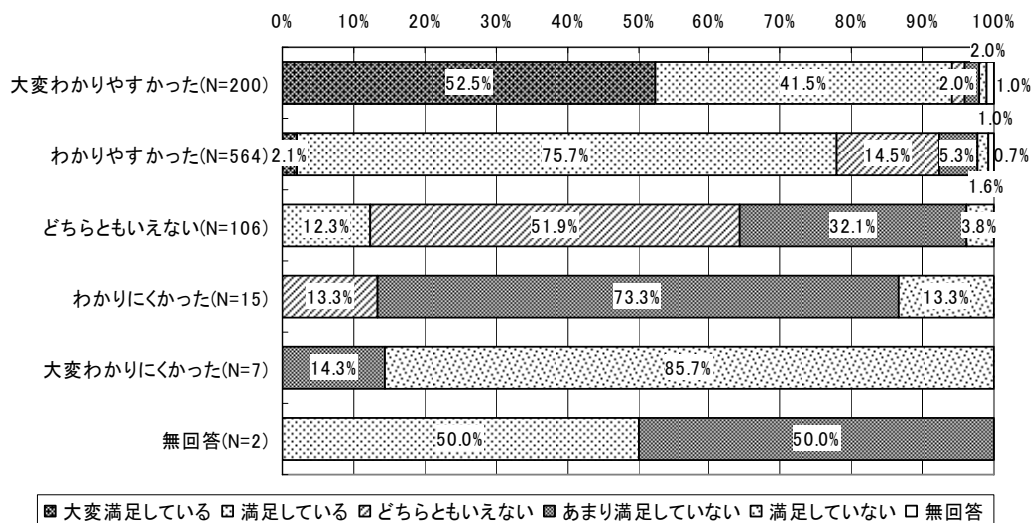
図表 46 説明書（文書）の満足度（受診理由別）



※受診理由は複数回答

わかりやすさ別に満足度をみところ、「大変わかりやすかった」とした患者については「大変満足している」が52.5%と最も多く、「大変わかりにくかった」とした患者については「満足していない」が85.7%と最も多く、わかりやすいと感じている人ほど満足度が高い傾向が読み取れる。

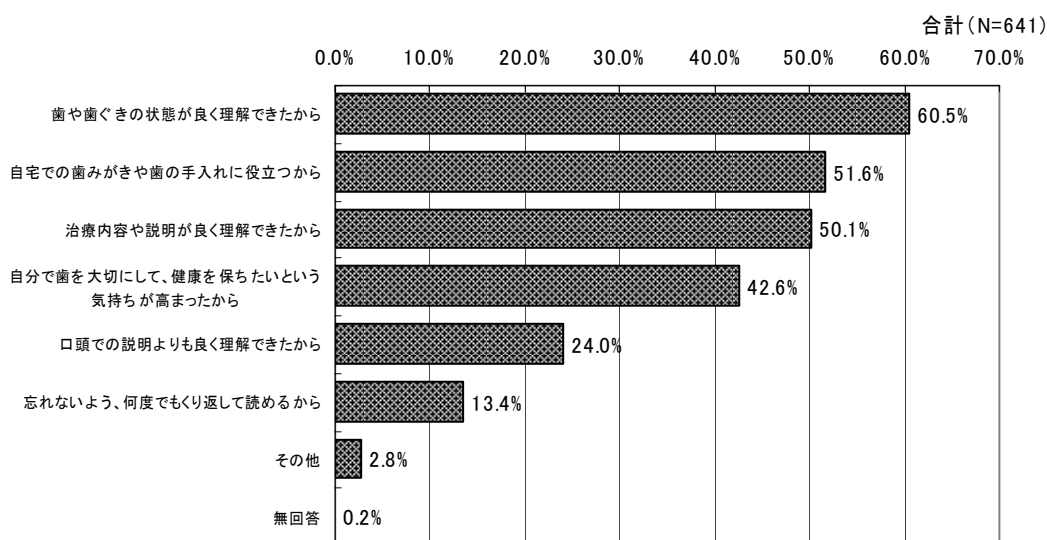
図表 47 わかりやすさ別の満足度（受診理由別）



8) 満足している理由 (n=641)

説明書（文書）をもらったことに対する満足度を「大変満足している」および「満足している」と回答した 641 人において、その理由についてみると、「歯や歯ぐきの状態が良く理解できたから」（60.5%）が最も多く、次いで「自宅での歯みがきや歯の手入れに役立つから」（51.6%）、「治療内容や説明が良く理解できたから」（50.1%）となっている。

図表 48 説明書（文書）に対して満足している理由（複数回答）



なお、「その他」の主な内容は以下のとおり。

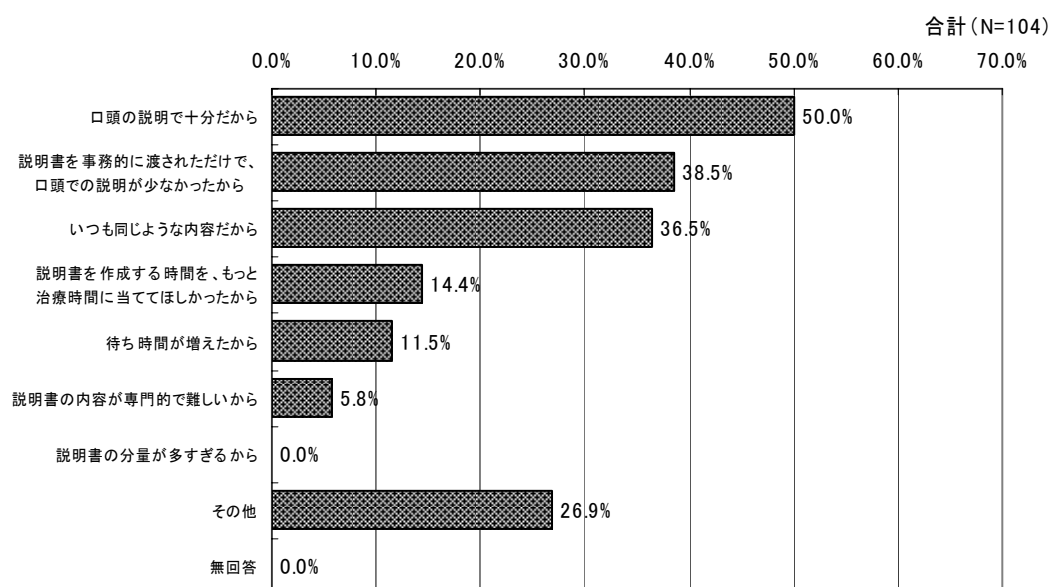
- ・ 今後、他の歯科医にかかる際の説明資料になると思うから。
- ・ 説明で良く理解できた。安心出来た。
- ・ 何をしているかわからないまま治療をうけるより、納得して治療を受ける方が医師への信頼感が持てるし、治療費にも納得できる。
- ・ 歯ぐきの状態を描画するコンピュータソフトが素晴らしい。一目瞭然の可視化で。
- ・ 口頭で聞いた内容の再確認が出来た。
- ・ 口頭でも良く説明の上に又さらに説明書を頂き理解しやすい。
- ・ 歯の状態を図式にしての状況が良く理解出来た。
- ・ いつまで通うのかがわかったので。
- ・ 口頭の説明にプラス説明書を渡されるととてもいねいに治療してもらっているような気持ちになる。
- ・ 指導を受けた歯みがき方法により歯グキがシッカリしてきた。
- ・ 口の内部に生じる病気が色々判った。

9) 満足していない理由 (n=104)

説明書（文書）をもらったことに対する満足度を「あまり満足していない」および「満足していない(不満である)」と回答した 104 人において、その理由についてみると、「口頭での説明で十分だから」(50.0%) が最も多く、次いで「説明書を事務的に渡されただけで、口頭での説明が少なかったから」(38.5%)、「いつも同じような内容だから」(36.5%) となっている。

その他では「内容が簡単すぎる」等の意見が散見された。

図表 49 説明書（文書）に対して満足していない理由（複数回答）



なお、「その他」の主な内容は以下のとおり。

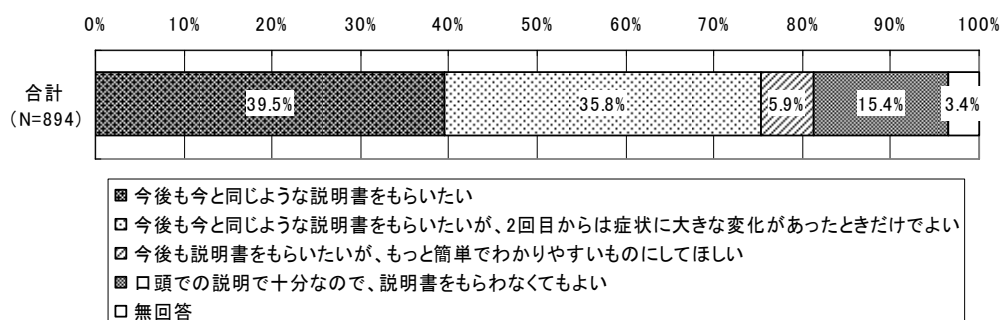
- ・ 口頭の説明がない。説明書を手渡すだけ。説明書は各種ある（歯周疾患用説明書、歯科衛生実地指導説明書等）これがわかりにくい。
- ・ 指導に具体性が欠ける（例）「生活習慣が原因」「注意してみがく」。
- ・ もっと一般の人にも分かり易い用語を使うべき。
- ・ むしろ、口頭で説明の方が応答式で判りやすい。
- ・ たいしたことが書いていない役にたたない。
- ・ 別途「お口の健康手帳」（有料）を持っており、こちらに詳しく記述されているから。
- ・ おざなり、簡単、出さなければならないのでしかたなく出している。
- ・ いくつかの項目に○印をつけて少し説明。
- ・ 口腔内の状態欄記号（RF、AF、WSD 等）が記載されていたが、意味不明。

- 同じ様な説明書を何度も渡される。
- 社内の歯科検診ですでに情報得ているため。
- 説明書が簡単すぎて詳しい事が書いていない。
- 治療期間が長かったが、説明書は終盤に1度のみ「中程度歯周炎」(簡単な文面である)。
- 患者へ向けたメッセージになっていない。
- 余計な治療費がかかる。
- 口頭での説明と重複している。
- 治療法の選択を求められても困る。自分で判断するのは難しい。
- 分かりやすく、説明して頂きたい。歯のケアについてアドバイスをして頂きたい。
- 画一的な印刷物で、患者本人の病状に対応していない。
- もっと詳しく説明してほしい。

10) 今後も説明書（文書）をもらいたい

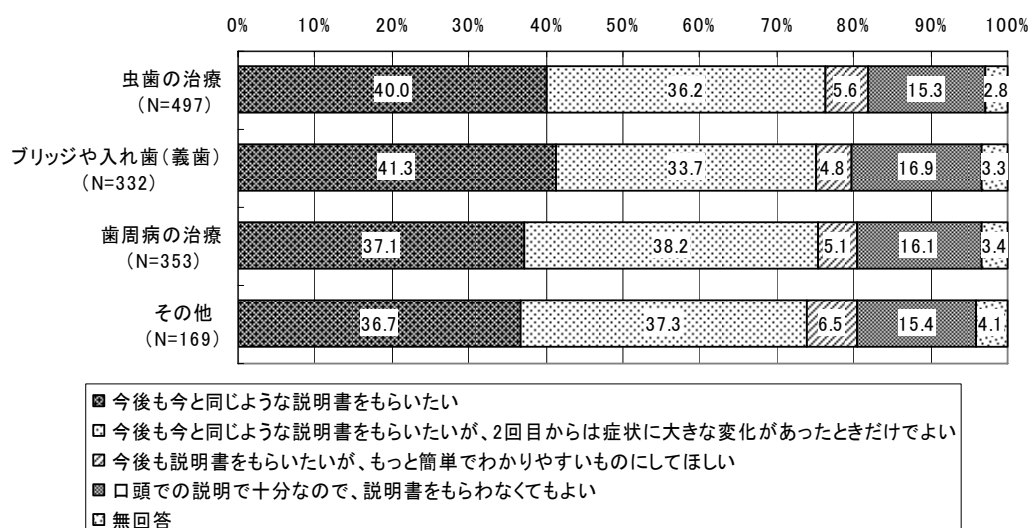
今後も説明書（文書）をもらいたいについては、約 75%が文書をもらいたいと回答している。その内訳としては、「今後も今と同じような説明書をもらいたい」（39.5%）が最も多く、次いで「今後も今と同じような説明書をもらいたい、2回目からは症状に大きな変化があったときだけでよい」（35.8%）となっている。なお、15.4%の患者は、「口頭での説明で十分なので、説明書をもらわなくてもよい」と回答している。

図表 50 今後も説明書（文書）をもらいたい



受診理由別（虫歯の治療、歯周病の治療、ブリッジや入れ歯（義歯）等）で、文書提供に対する患者の考えに大きな差は認められなかった。

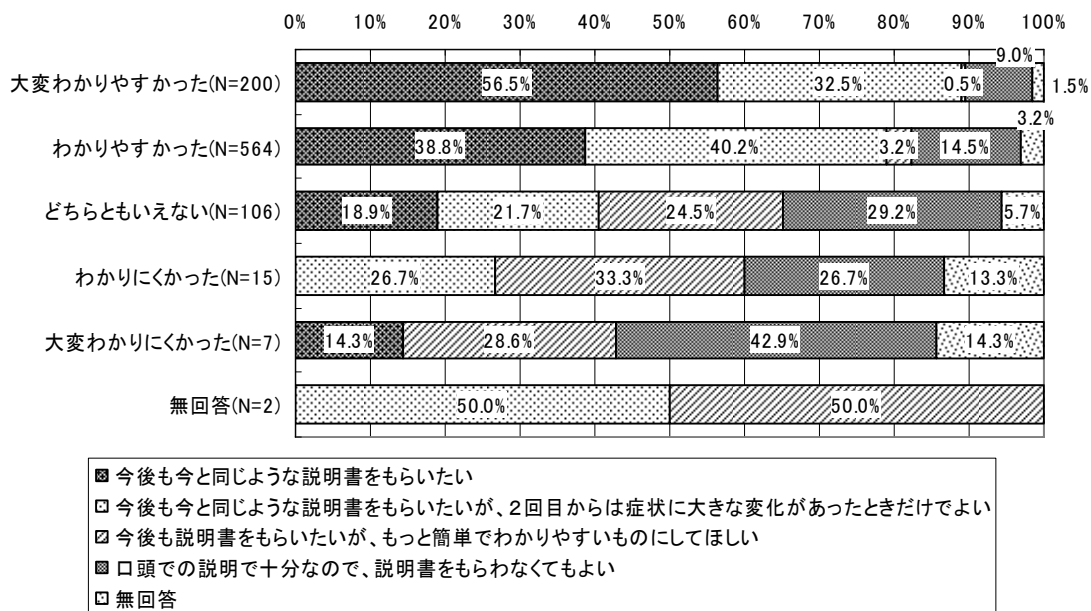
図表 51 今後も説明書（文書）をもらいたい（受診理由別）



※受診理由は複数回答。

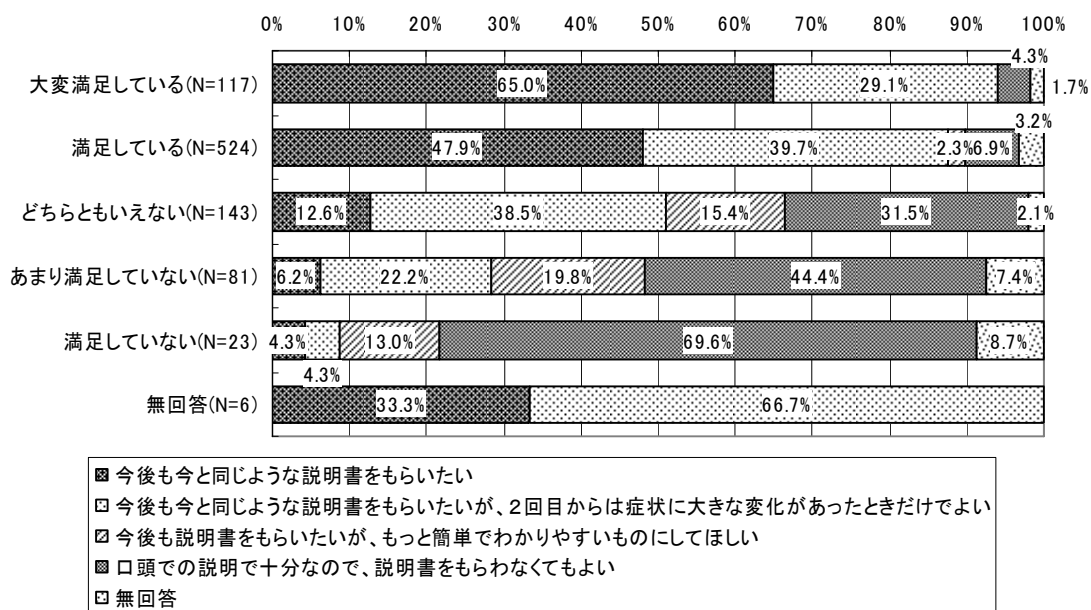
わかりやすいと評価している患者ほど、「今後も今と同じような説明書をもらいたい」との回答が多い。

図表 52 今後も説明書（文書）をもらいたい（わかりやすさ別）



満足度が高い患者ほど、「今後も今と同じような説明書をもらいたい」との回答が多い。

図表 53 今後も説明書（文書）をもらいたい（満足度別）



6. まとめ

1) 施設調査結果から

- ・ 歯科医療機関全体（診療所・病院・大学病院）で、1日あたりの文書を作成して提供する総患者数は約5人であり、総患者数に占める割合は約3分の1であった（図表16）。また、1日あたり文書作成に要する時間は歯科医療機関全体（診療所・病院・大学病院）で約26分であり、1日の総診療時間に占める文書作成時間割合は約8%であった（図表17）。これより、1人あたりの文書作成に要する時間は、約5分程度（＝約26分／約5人）と推察できた。
- ・ 文書の作成方法は、「市販の様式に手書き」との回答が多かった（図表19）。
- ・ 文書による情報提供は、「患者さんの待ち時間が長くなった」、「文書の控えの管理が大変になった」、「実際の治療を行う時間が減った」、「文書提供に時間がかかり、診療時間帯を延長した」、「文書提供に時間がかかるため、1日の患者数が減った」等の影響があることが分かった（図表23）。
- ・ 歯科医師から見た治療内容に関する患者の満足度および理解度については、文書の提供を受けても「変わらない」との回答が多く見られている（図表29、図表30）。

2) 患者調査結果から

- ・ 調査対象患者の約4割が、歯科診療において文書提供を受けていた（図表39）。
- ・ 提供された文書について、患者の約85%が「わかりやすい」と回答しており（図表41）、文書による情報提供については、患者は概ね満足（71.7%）していることが明らかとなった（図表44）。
- ・ 今後も文書をもらいたいとの回答が8割を超えていたが、文書提供のあり方については、「今後も今と同じような説明書をもらいたい」との回答が4割程度である一方、「今後も今と同じような説明書をもらいたい、2回目からは症状に大きな変化があったときだけでよい」、「今後も説明書をもらいたい、もっと簡単でわかりやすいものにしてほしい」などの意見も4割程度みられた（図表50）。

歯科診療における文書提供に関する調査

＜本調査票は、事務担当の方がご記入ください＞

※回答の際は、あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、()内、および(2)の枠内には具体的な数値、用語等をご記入ください。()内に入る数値がない場合には、「0(ゼロ)」をご記入ください。

(1) 貴施設の状況(平成18年11月現在)についてお聞きします。

所在地(都道府県名)	() 都・道・府・県 ※○で囲んでください。			
開設主体 ※1つだけ選択	1. 国(厚生労働省、国立病院機構、国立大学法人、労働者健康福祉機構等) 2. 公的医療機関(都道府県、市町村、日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会等) 3. 社会保険関係団体(全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合等) 4. 法人(公益法人、医療法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人等) 5. 個人			
機務診療科(歯科関連) ※複数選択可	1. 歯科	2. 矯正歯科	3. 小児歯科	4. 歯科口腔外科
職員数(常勤換算)	歯科医師 ()人	歯科衛生士 ()人	受付秘書・歯科助手・その他 ()人	
※常勤換算については、以下の方法で算出してください。また、常勤換算後の職員数は整数(小数点以下四捨五入)でお答えください。 ■1週間に数回勤務の場合:(非常勤職員の1週間の勤務時間)÷(貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間) ■1ヶ月に数回勤務の場合:(非常勤職員の1ヶ月の勤務時間)÷(貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4)				
届出施設基準 ※複数回答可	1. 補綴物維持管理科 2. 歯科疾患総合指導科 1 3. 歯科疾患総合指導科 2			

(2) 歯科診療における文書提供に関するご意見等がございましたら、自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございます。

No.

歯科診療における文書提供に関する調査

＜本調査票は、歯科医師の方がご記入下さい。＞

※回答の際は、あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、()内、および(2)の枠内には具体的な数値、用語等をご記入ください。()内に入る数値がない場合には、「0(ゼロ)」をご記入ください。

(1) 1週間の総患者数、総診療時間数、文書作成に費やした時間についてお聞きします。平成18年11月15日(水)～21日(火)の期間における、それぞれの時間数を黒枠内にご記入ください。

※ 文書とは、各種指導料等を算定する場合に患者さんに情報提供するものを指し、領収証(明細書)は除きます。
 ※ 初診・再診合計の欄には、初診患者と再診患者の合計をご記入ください。休診日の患者数や時間数については、「0(ゼロ)」とご記入ください。文書作成を行わなかった日についても、作成時間は「0(ゼロ)」とご記入ください。
 ※ 時間数については、5分を最小単位として、整数でご記入下さい。

	11/15 (水)	11/16 (木)	11/17 (金)	11/18 (土)	11/19 (日)	11/20 (月)	11/21 (火)
①初診人数	人	人	人	人	人	人	人
②再診人数	人	人	人	人	人	人	人
初診・再診合計 ※①と②の合計	人	人	人	人	人	人	人
うち、文書を作成して 提供した総患者数	人	人	人	人	人	人	人
1日の総診療時間数(実働) ※1時間30分の場合は、上段に7、下段に30とご記入ください	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間
うち、文書作成に費や した総時間数	分	分	分	分	分	分	分
	分	分	分	分	分	分	分

(2) 文書の作成方法や文書提供による診療への影響についてお聞きします。

文書作成方法 ※1つだけ選択	1. コンピュータ	2. コンピュータと手書き
	3. 市販の様式に手書き	4. すべて手書き
文書提供による 診療への影響	1. 患者さんへの指導や説明がより確実にできるようになった 2. 口頭での説明時間が減ったのでよかった 3. 患者さんの理解が以前より深まった 4. 実際の治療を行う時間が減った 5. 文書提供に時間がかかるため、1日の患者数が減った 6. 文書提供に時間がかかり、診療時間帯を延長した 7. 患者さんの待ち時間が長くなった 8. 文書の控えの管理が大変になった 9. 特にな 10. その他 ()	
※複数回答可 ※その他と回答した 場合には、具体的 な内容について もご記入ください		

(3) 歯科医師のお立場から見た、文書の提供を受けた患者さんの主な反応についてお聞きします。

治療に対する患者さんの満足度に変化 はありましたか ※1つだけ選択	1. 満足度は向上した	2. 満足度は少し向上した	3. 変わらない
	4. 満足度は少し低下した	5. 満足度は低下した	6. わからない
治療内容に関する患者さんの理解は深 まりましたか ※1つだけ選択	1. 理解度は向上した	2. 理解度は少し向上した	3. 変わらない
	4. 理解度は少し低下した	5. 理解度は低下した	6. わからない
歯科疾患総合指導および継続管理診断 に際して、自署を求められた時の患者さん の主な反応はいかがでしたか ※1つだけ選択	1. 自署を伴うこれらの指導は行っていない 2. すずんで自署した 3. 自署したが説明を求められた 4. 自署したがかなり消極的だった 5. 自署しなかった		
患者さんの反応について、その他お気づ きの点がありましたらご記入ください	※自由記述		

(4) 歯科診療における文書提供に関するご意見等がございましたら、自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございます。

No.

歯科診療に対する患者意識調査

アンケート用紙

以下のアンケートでお伺いする『説明書』とは、虫歯・歯周病・差し歯・入れ歯の治療を受ける患者様にお渡しするもので、治療計画や治療方法、家庭での歯みがき方法や入れ歯の手入れ方法などが記載されており、歯科医師から患者様に対して指導を行った際にお渡しすることになっています。

◎ ご記入方法

- このアンケートは、被保険者様ご自身がお答えください。（ご家族の状況についてお答えいただく必要はありません。）
- 回答の際には、あてはまる番号に○（マル）をつけてください。（ ）内には数値や用語をご記入ください。

【記入例】：あなたが 45 歳の男性の場合

(1) あなたの性別と年齢をお答えください。

性別 1. 男性 2. 女性 年齢 (45) 歳

- 質問によって、あてはまる番号 1 つだけに○をつけるもの、あてはまる番号すべてに○をつけるものがありますのでご注意ください。
- 回答選択肢の「その他」を選ばれた方は、その内容を具体的に（ ）内にご記入ください。
- 質問は（1）から（9）まであります。質問（4）で「1. 説明書もらった」と回答した方は、質問（5）以降の全ての質問にお答えください。質問（4）で「2. 文書はもらわなかった」もしくは「3. 覚えていない」と回答した方は、そこでアンケートは終了です。

◎ ご返送方法

- ご回答終了後、このアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れ、**12月28日（木）**までにご返送ください。（封筒に切手を貼る必要はありません。）

お忙しいところ恐縮ですが、何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。
では、ページを開いて質問へお進みください。

(1) あなたの性別と年齢をお答えください。

性別 1. 男性 2. 女性 年齢 () 歳

(2) あなたが現在受診している（あるいは過去4ヶ月以内に受診した）歯科医療機関について、所在地（都道府県名）と医療機関の種類をお答えください。医療機関の種類については、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

※過去4ヶ月以内に複数の歯科医療機関を受診した場合には、いちばん最近に受診した医療機関についてお答えください。

所在地（都道府県名） () 都・道・府・県

医療機関の種類 1. 歯科大学（歯学部）附属病院 2. 病院の歯科や口腔外科
 3. 歯科医院（クリニック、診療所）

(3) あなたが歯科医療機関を受診した理由をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. むし歯の治療 2. 歯周病の治療 3. プリッジや入れ歯（義歯）
4. その他 ()

(4) あなたが受診した際、治療内容（治療計画、治療方法、家庭で気をつけることなど）が記載された書類（以下では、『説明書』とよびます）をもらいましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 説明書もらった 2. 説明書はもらわなかった 3. 覚えていない

上の質問で「1. 説明書もらった」と回答した方は、(5)以降の質問にお答えください。

アンケートはここで終了です。

(5) どのような内容の説明書をもらいましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. むし歯や歯周病についての説明書 2. お口の状態についての説明書
3. 治療計画や治療方法についての説明書 4. 歯みがき方法についての説明書
5. プリッジや入れ歯の手入れについての説明書
6. その他 ()

(6) 説明書の内容はわかりやすかったですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 大変わかりやすかった 2. わかりやすかった 3. どちらともいえない
4. わかりにくかった 5. 大変わかりにくかった

(7) 説明書に対して、あなたはどの程度満足していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 大変満足している 2. 満足している 3. どちらともいえない

4. あまり満足していない 5. 満足していない(不満である)

上の質問で、「1. 大変満足している」「2. 満足している」と回答した方は、その理由を下記から選び、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

上の質問で、「4. あまり満足していない」「5. 満足していない(不満である)」と回答した方はその理由を下記から選び、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(8) にお進みください。

1. 歯や歯ぐきの状態が良く理解できたから
2. 治療内容や説明が良く理解できたから
3. 口頭での説明よりも良く理解できたから
4. 自宅での歯みがきや歯の手入れに役に立つから
5. 忘れないよう、何度でもくり返して読めるから
6. 自分で歯を大切に、健康を保ちたいという気持ちが高まったから
7. その他 (具体的に)

1. いつも同じような内容だから
2. 口頭での説明で十分だから
3. 説明書を作成する時間を、もっと治療時間に当ててほしかったから
4. 待ち時間が増えたから
5. 説明書を事務的に渡されただけで、口頭での説明が少なかったから
6. 説明書の内容が専門的で難しいから
7. 説明書の分量が多すぎるから
8. その他 (具体的に)

(8) 今後も、治療の際に説明書をもらいたいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 今後も今と同じような説明書をもらいたい
2. 今後も今と同じような説明書をもらいたいが、2回目からは症状に大きな変化があったときだけでよい
3. 今後も説明書をもらいたいが、もっと簡単でわかりやすいものにしてほしい
4. 口頭での説明で十分なので、説明書をもらわなくてもよい

(9) 治療の際に説明書をもらうことについて、ご意見などございましたらお書きください。

※自由にご記入ください

質問は以上です。ご協力いただき誠にありがとうございました。
このアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れ、12月28日(木)までにご返送ください